

全国市議会旬報

第 2158 号

ぜんこくしぎかいじゅんぽう

令和3年 (2021年) 6月5日

毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03 (3262) 5234
旬報 TEL 03 (3262) 2309
発行人 滝本 純生
https://www.si-gichokai.jp



第97回定期総会

新会長に清水横浜市会議長

「地方財政のあり方明確化」「議会位置付け・厚生年金」 決議



菅義偉首相（写真中央右）と清水会長（写真中央左）ら正副会長（5月26日、首相官邸）

本会は5月26日付で第97回定期総会を书面開催し、第64代会長に清水富雄横浜市の議長を選任した。清水会長は同日、首相官邸に菅義偉首相を敬訪し、27日にも政府・与党要職に就任あいさつをした。清水新体制の下、始動した本会は、今年度で焦点となる見込みの「一般財源総額確保」ルール見直しなどをめぐり、要望実現のために全力を挙げる方針だ。（2〜7面関連記事）

の会場開催は2年連続で見送った。役員選考、議案などの総会所管の協議事項は事前に全市区に送付し、賛否を諮った。役員選考では、5月11日にWeb開催した役員選考委員会で、会長のほか、副会長6人、監事3

「一般財源総額」ルールが焦点

総会ではまた会長・地方部会提出議案32件が諮られ、いずれも了承された（5面に一覧掲載）。このうち、①「市議会への参画促進」では、地方議会の位置付け、議員職務の明確化について「令和5年度の統一地方選挙までに地方自治法で明確化する」よう要望。厚生年金への加入についても法整備を求めた。

②「地方財政の充実」では、一般財源総額の確保に係るルール（※2面最下段）が今年度で期限切れとなることを踏まえ、「地方財政のあり

方」を明確にする「よう要望、令和4年度一般財源総額の充実を求めた。現在のルールでは一般財源総額について、平成30年度と実質同水準を確保することがうたわれている。来年度以降の対応では、社会保障関係費の増加などに配慮して、地方財政が痛まない仕組みづくりができるかが焦点になる見通しだ。

お知らせ
次号の旬報は、6月25日付の2159・60号合併号として発行します。

一方、地方部会から提出された議案は27件。会長提出議案とともに了承確認の手続きを経て各委員に付託された。総会ではまた、部会長・理事・評議員・各委員会

清水会長 就任あいさつ



清水富雄 (しみずとみお)
【略歴】
昭和30年9月1日生まれ 65歳
議員歴 平成7年4月～現在
議長歴 令和3年5月～現在

平素より、本会の運営につきまして格別のご高配を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

この度、第97回全国市議会議長会定期総会におきまして、第64代会長にご選任いただきました、横浜市議長の清水富雄でございます。

皆様方におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、住民福祉の向上や、魅力ある地域づくりに向け、ご尽力されておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

さて、昭和7年5月に設立された本会は、来年、90周年を迎えます。歴史と伝統ある本会の会長を、このような記念すべき時期に拝命し、大変、光栄に存じます。

大きな功績を残されました歴代会長の後を受け、その責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

前任の野尻会長におかれましては、厚生年金への地方議会議員の加入、地方税財源の充実確保、防災・減災

対策の充実強化などにご尽力いただきました。深く感謝を申し上げます。

私といたしましても、残された諸課題や、新たな課題の解決に向け、全力を傾注してまいり所存でございます。皆様方のお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

この際、本会の当面の課題につきまして申し上げます。

まず、第33次地方制度調査会が来年にも設置され、地方議会のあり方が主要なテーマになると予想されます。三議長会が連携し、これに適切に対応するとともに、これまでも要望しております地方議会の位置付け、議員の職務につきまして、令和5年度の統一地方選挙までに地方自治法で明確化するよう、求めてまいります。こうした取組と併せ、厚生年金への地方議会議員の加入につきまして、早期の実現を粘り強く求めてまいります。

また、デジタル改革関連法案が成立したことに伴い、地方議会のデジタル化への対応も、重要な課題となっております。本会といたしましても、各市議会への情報提供など、必要な支援に努めてまいります。

次に、厳しい経済財政事情を踏まえ、地方財政の充実確保を求めていく必要があります。特に、本年度は、地方税・地方交付税など一般財源総額の確保に関するルールが、期限切れを迎えます。令和4年度以降の地方財源のあり方を明確にし、一般財源総額の充実確保が図られるよう、十分な対策を求めてまいります。

地球温暖化対策につきましても、国の動向を注視しながら、地方財源確保の観点も含め、適切に対応してまいります。

また、発生から10年の歳月が経過した東日本大震災はじめ、最近頻発する災害につきまして、引き続き、被災自治体と力を合わせ、復興に向けた要望を重ねてまいります。

結びに、皆様方のご健勝及び貴市議会の益々のご発展をご祈念申し上げ、会長就任に当たってのご挨拶とさせていただきます。

員を選任、顧問・相談役委員も了承が得られた。今総会開催にあたり、3月9日付で会長職を退いた野尻哲雄前会長(大分市)が書面あいさつし、任期中の各地方議会・議員の協力に謝意を示すとともに、地方議員の厚生年金加入について、「一丁目一番地の最重要課題」として取り組んできたとし、「引き続きのご尽力をお願い申し上げます」と述べた。

野尻氏の後を継いだ板橋衛会長代行(横須賀市)も5月13日付で退任しており、今総会までの約2週間は宮内春雄会長

代行(徳島市)が職務を引き継いだ。来年度「プラごみ」都市問題特別委

本会は第223回理事

清水新会長就任あいさつはこちらから動画でご覧になれます

<https://www.youtube.com/watch?v=Dctr3dtzUlo>



会を企画開催し、「都市問題に関する特別委員会」で令和4年度に取り上げるテーマについて「海洋プラスチックごみをはじめとするプラスチックごみ問題」とすることを決めた。海洋環境の悪化、生態系系系への深刻な悪影響をもたらしているプラスチックごみ問題について、都市問題の観点から解決策を探る。

※「経済財政運営と改革の基本方針2018」(平成30年6月15日閣議決定)
「地方の歳出水準については、国の一般歳出の取組と基調を合わせつつ、交付団体をはじめ地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の総額について、2018年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保する」「基盤強化期間」2019～21年度の予算編成方針

第228回
部会長会議

標準規則検討会議

設置決定

228回部会長会議をW e bを併用して全国都市会館で開催した。標準会

議規則等の改正等に関する検討会議の設置などについて協議、決定した。清水富雄会長(横浜市)

デジタル化など本会の当面の課題に触れ、地球温暖化対策については「国の動向を注視しながら、地方財源の確保の観点も含め、適切に対応していく」とした。

市、部会長市(9市)、政令指定都市の代表市(1市)、中核市の代表市(1市)から成る。検討事項は、令和2年4月の総務省通知で委員会のオンライン開催ができるとの見解が示されたことに伴う必要な委員会条例の改正事項等について行うとした。

その他では、地方議会に関する議員立法の動向などについて事務局から報告。▽請負禁止の範囲の明確化および緩和▽災害等の場合の招集日の変更一への議員立法による対応や、議会・議員の位置付け・職務明確化、各自治体の課題と特性に応じた柔軟な地方議会等のあり方を次期地方制度調査会で検討するよう求めることについて動向を報告。また、将来を見据えた市町村議会制度のあり方について、今秋を目途に本会と町村議会議長会で共同で研究会を立ち上げ、

デジタル化など本会の当面の課題に触れ、地球温暖化対策については「国の動向を注視しながら、地方財源の確保の観点も含め、適切に対応していく」とした。

このほか、令和3年5月12日に可決・成立した「デジタル社会の形成をはかるための関係法律の整備に関する法律」による個人情報保護に関する法律改正で個人情報保護の共通ルールが規定・各自治体に適用されることとなったものの、議会がその対象外となっていることについて、対応方針をできるだけ早期に策定するとした。

また、部会長会議に先んじて同日に正副会長会議が開催され、部会長会議での協議事項のほか、会長の職務を行う副会長の順序、副会長の各委員等への割り振りなどについて協議を行った。

野尻前会長 あいさつ



野尻哲雄前会長

第97回定期総会の書面開催にあたり、会長退任のご挨拶を申し上げます。

私は、令和元年6月11日開催の第95回定期総会におきまして本会の第63代会長を拜命し、本年3月9日まで務めさせていただきました。大分市議会議員の任期満了に伴い、任期途中での退任となりましたこと誠に申し訳なく存じます。

会長在任中は、厚生年金への地方議会議員の加入を一丁目一番地の最重要課題として、三議長会で全国大会を開催し、その実現に向けて決議を行うなど、努力を重ねてまいりました。また、地方税財源の充実確保、東日本大震災からの復興、防災・減災対策の

充実強化、さらに任期後半には新型コロナウイルス感染症への対応などにつきまして、皆様方のご協力をいただきながら取り組んでまいりました。

お蔭をもちまして、ゴルフ場利用税の堅持が図られたほか、被災者生活再建のための支援金が拡充され、中規模半壊が追加されるなど、所期の成果を挙げることができました。これもひとえに、皆様方のお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

しかしながら、厚生年金への地方議会議員の加入につきましては、力及ばず実現には至りませんでした。誠に心残りであり、今後、新体制のもと、引き続きこの課題にご尽力いただきますよう、切にお願い申し上げます。

本来であれば全国の市議会議員各位が参集する会場においてご挨拶申し上げるべきところですが、コロナ禍の中、第97回定期総会が書面開催となり、皆様方に直接ご挨拶ができず大変残念に存じます。

最後になりましたが、改めて会長在任中の皆様方のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。また、総会で選任される会長をはじめ新役員の方々にも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、全国市議会議長会、各市議会の益々のご発展と皆様方のご健勝・ご活躍を祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。

協議では、標準会議規則の改正等に関する検討会議の設置および検討事項について決定。議会に関する重要事項を検討する頻度や必要性がこのところ上がっていることから、それらに柔軟かつ迅速に対応するため、本会に常設の形で設置するとした。検討会議は、標準会議規則および委員会条例、傍聴規則の改正案等の作成および附帯する運用指針等に関して検討を行うもの。

市、部会長市(9市)、政令指定都市の代表市(1市)、中核市の代表市(1市)から成る。検討事項は、令和2年4月の総務省通知で委員会のオンライン開催ができるとの見解が示されたことに伴う必要な委員会条例の改正事項等について行うとした。

また、部会長会議に先んじて同日に正副会長会議が開催され、部会長会議での協議事項のほか、会長の職務を行う副会長の順序、副会長の各委員等への割り振りなどについて協議を行った。

役員改選を実施

第97回定期総会では役員改選を実施。副会長、監事、部会長、理事、評議員、各委員会委員を選任・委嘱した。

副会長は▽篠原藤雄(岩見沢市)▽小泉栄正(長野市)▽兵道顕司(甲府市)▽鈴木和彦(静岡市)▽小川眞和(福山市)▽紫垣正仁(熊本市)の6名とした。

監事は▽森園秀一(八戸市)▽三浦敦次(奈良市)▽吉田善三郎(四国中央市)の3名。

部会長は▽北海道II本田俊治(根室市)▽東北II遠藤政幸(盛岡市)▽北信越II小泉栄正(長野市)▽関東II助川忠弘(柏市)▽東海II友松孝雄(春日井市)▽近畿II岡田秀子(八幡市)▽中国II川神裕司(浜田市)▽四国II和田勝美(高知市)▽九州II川越桂路(鹿児島市)の9名(北海道部会を除く8部会長は各地方議連の会長と兼任、小



篠原副会長
(岩見沢市)



小泉副会長 兼
北信越部会長(長野市)



兵道副会長
(甲府市)



鈴木副会長
(静岡市)



小川副会長
(福山市)



紫垣副会長
(熊本市)



本田北海道部会長
(根室市)



岡田近畿部会長
(八幡市)



森園監事
(八戸市)



三浦監事
(奈良市)



吉田監事
(四国中央市)



二之湯顧問
(参議院議員)

泉北信越部会長は副会長を兼任。
このほか、理事51名、評議員155名を選任した。各委員会の委員には、119名(地方行政・地

方財政・社会文教・産業経済・建設運輸II各22名、国会対策9名)を選任した。国と地方の協議の場等に関する特別委員会委員、都市問題に関する特別委

員会委員35人はそれぞれ設置要綱に基づき会長が委嘱した。
顧問には二之湯智参議院議員(本会元会長)、相談役に野尻哲雄前会長と元会長、20政令市の議長ら計25人を委嘱した。

清水会長
政府関係国会議員へ
本会の清水富雄会長は5月27日、就任あいさつのため東京・永田町の衆参両議員会館、自民党本部や、霞が関の官庁街を訪れた。

あいさつした政府・与党の要職は次の通り。
▽森山裕自民党国会対策委員長▽あかま二郎自民党総務部会「地方議会の課題に関するPT」事務局長▽二之湯智自民党

参議院政策審議会長▽石井啓一公明党幹事長▽武田良太総務相▽榊原敬悟公明党政調会長代理▽野田聖子自民党幹事長代行▽下村博文自民党政調会長▽佐藤勉自民党総務会長▽石田祝稔衆議院総務委員長▽竹内譲公明党政調会長▽石田真敏自民党総務部会「地方議会の課題に関するPT」座長▽坂本哲志まち・ひと・しごと創生担当相



武田総務相 (写真右)



坂本まち・ひと・しごと創生担当相 (写真左)

会長提出議案

区分	議案番号	件名
会長提出 決議	1	多様な人材の市議会への参画促進に関する決議
	2	ポストコロナ禍を展望した地方行財政の充実に関する決議
	3	新型コロナウイルス対策に関する決議
	4	頻発・激甚化する大規模災害等からの防災・減災対策及び復旧・復興対策等に関する決議
	5	東日本大震災からの復旧・復興に関する決議

部会提出議案

区分	議案番号	件名	提出部会
震災防災	1	東日本大震災からの早期復旧・復興について	東北
	2	原子力発電所事故災害への対応について	東北
	3	水害対策を確実に実施するための支援について	東海
新型コロナウイルス	4	新型コロナウイルス感染症対策と地域経済等への支援について	九州
	5	新型コロナウイルス感染症拡大の影響下における安定的行政運営のための地方自治体への財政的支援について	関東
	6	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の更なる充実について	北信越
	7	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の継続及び弾力的な運用について	東海
地方行財政	8	地域活性化に資する制度創設等による支援策の拡充について	関東
	9	地方議会からの意見書の扱いに係る制度の確立について	東海
	10	北方領土問題の早期解決等について	北海道
	11	北朝鮮による拉致問題の早期解決について	北信越
	12	日米地位協定の抜本的な改定及び在沖米軍基地の負担軽減について	九州
	13	自治体デジタル・トランスフォーメーション推進への支援について	四国
	14	地域おこし協力隊任期後の定住・定着支援事業の拡充について	四国
	15	緊急防災・減災事業債制度の充実・強化と恒久化について	関東
社会文教	16	子ども医療費助成制度の国による制度化について	四国
	17	パーキンソン病患者をはじめ難病患者対策の推進を求めることについて	中国
	18	幼児教育・保育の充実について	近畿
	19	ひきこもりに対する実効性のある支援策を求めることについて	近畿
	20	水道施設更新・改良に関する国庫補助制度等の拡充と創設について	近畿
建設運輸	21	北海道の道路整備について	北海道
	22	道路交通網の整備促進について	東北
	23	山陰道の建設促進について	中国
	24	九州における高速交通網等の整備促進について	九州
	25	北海道新幹線の建設促進について	北海道
	26	北陸新幹線の整備促進について	北信越
	27	山陰への高速鉄道の実現について	中国

正副議長と議員2428名表彰

本会は、書面開催した第97回定期総会で、長期にわたって任期を務めた市議会正副議長、議員を表彰した。今年度の受表彰者は、正副議長表彰109名(うち特別表彰3名)、議員表彰2319名(うち特別表彰567名)で、総数2428名だった。

本紙では、正副議長受表彰者と、議員受表彰者のうち30年以上勤続の受表彰者の氏名を掲載する(敬称略)。

正副議長表彰

【特別表彰】

- ▼12年以上(1名)
中谷尚敬(生駒市)
- ▼8年以上(2名)
鈴木一郎(十日町市)
大橋基之(天理市)

【一般表彰】

- ▼4年以上(106名)
小田中稔(室蘭市)▽伊田森良隆(芦別市)▽伊藤雅暢(恵庭市)▽清野一榮(弘前市)▽村上進(気仙沼市)▽櫻井隆(岩沼市)▽及川昌憲(登米市)▽宮野和秀(鹿角市)▽兎澤祐一(鹿角市)▽齋藤武弘(山形市)▽下
- 山准一(新庄市)▽柏倉信一(寒河江市)▽長澤長右衛門(上市市)▽戸川稔朗(会津若松市)▽菅波健(いわき市)▽蛭田源治(いわき市)▽今村裕(南相馬市)▽佐藤豊美(新潟市)▽関正史(長岡市)▽阿部銀次郎(三条市)▽眞貝維義(柏崎市)▽風間輝榮(阿賀野市)▽薄田智(胎内市)▽西恵(輪島市)▽安達肇(かほく市)▽三原一高(駒ヶ根市)▽二條孝夫(大田市)▽小美濃安弘(武蔵野市)▽五十嵐京子(小金井市)▽石井功(狛江市)▽大串ひろ

- (伊東市)▽戸塚文彦(袋井市)▽土屋秀明(裾野市)▽加藤弘己(湖西市)▽三田忠男(伊豆市)▽松本正幸(菊川市)▽大竹正章(田原市)▽大原功(弥富市)▽木下順一(鳥羽市)▽山田紘治(羽島市)▽後藤康司(恵那市)▽武藤孝成(山県市)▽服部寿(海津市)▽池辺貢三(泉大津市)▽二石博昭(箕面市)▽芦田眞弘(福知山市)▽北仲篤(宮津市)▽松村博司(京田辺市)▽藤田啓仁(栗東市)▽佐藤良憲(伊丹市)▽深澤巧(養父市)▽東豊俊(宍粟市)▽小紫泰良(加東市)▽東原伸也(新宮市)▽土井裕美子(橋本市)▽森脇幸好(松江市)▽川上幸博(出雲市)▽森脇悦朗(江津市)▽三宅宅三(玉野市)▽小林重樹(高梁市)▽小野田光(瀬戸内市)▽森本茂樹(呉市)▽乗越耕司(東広島市)▽武田新一(長門市)▽山本達也(柳井市)▽小林雄二(周南市)▽八木弘(さぬき市)▽爲廣員史(三豊市)▽相原眞知子(東温市)▽島岡信彦(香美市)▽高原良視(筑紫野市)▽藤井雅之(太宰府市)▽櫛川正男(うきは市)▽生田忠照(島原市)▽谷川等(五島市)▽相良尚彦(五島市)▽平野直幸(西海市)▽永田健(山鹿市)▽藤原豊(山鹿市)▽園田一博(上天草市)▽本田忠(竹田市)▽衛藤竜哉(豊後大野市)▽濱中武紀(日南市)▽黒木高広(日向市)▽湯之原一郎(始良市)▽小浜守勝(沖繩市)
- 田正孝(横浜市)▽高橋文雄(秦野市)▽橋本登(千葉市)▽林則夫(可児市)▽牧野芳治(箕面市)▽片山尹(北九州市)▽35年以上(11名)
久保谷孝夫(つくば市)▽金子和雄(つくば市)▽柴田安彦(蒲郡市)▽清水勝(大田市)▽児玉光禎(広島市)▽大西明子(岩国市)▽中本和行(光市)▽田坂信一(松山市)▽大塚基生(天草市)▽河野數則(別府市)▽又吉謙一(浦添市)
- ▼30年以上(190名)
三上洋右(札幌市)▽上菊池豪一(北見市)▽田田久司(岩見沢市)▽田村勇(滝川市)▽鷹羽茂(恵庭市)▽下山文雄(弘前市)▽澁谷勲(青森市)▽伊藤圓子(八戸市)▽豊川泰市(十和田市)▽織川貴司(十和田市)▽工藤由春(盛岡市)▽鈴木俊祐(盛岡市)▽大沢俊光(久慈市)▽八重櫻友夫(久慈市)▽赤間次

議員表彰

【特別表彰】

- ▼50年以上(3名)
野本信正(千葉市)▽小林博次(四日市市)▽大石忠昭(豊後高田市)

- ▼40年以上(8名)
志村博司(荒川区)▽関口和雄(練馬区)▽太

- 彦(仙台市)▽佐藤正昭(仙台市)▽昌浦泰巳(多賀城市)▽花岡有一(大館市)▽笹島愛子(大館市)▽相馬ミミ子(大館市)▽佐藤文子(大館市)▽橋本五郎(大館市)▽澤井昭二郎(潟上市)▽高橋壽(米沢市)▽富樫幸宏(酒田市)▽清野忠利(東根市)▽山岸清(福島市)▽佐藤豊美(新潟市)▽西川重則(三条市)▽久住久俊(三条市)▽中村功(新発田市)▽樋口博務(加茂市)▽安武秀敏(加茂市)▽林茂(五泉市)▽高見隆夫(富山市)▽畠起也(高岡市)▽新村文幸(黒部市)▽玉野道(金沢市)▽中西利雄(金沢市)▽高村佳伸(金沢市)▽澤飯英樹(金沢市)▽今田勇雄(七尾市)▽中西庸介(七尾市)▽加藤貞信(福井市)▽林正男(敦賀市)▽前田修治(越前市)▽石井良司(三鷹市)▽大西宣也(町田市)▽小峰和美(西東京市)▽小栗智恵子(中央区)▽雨宮武彦(新宿区)▽かわの達男(新宿区)▽品田ひでこ(文京区)▽沖山仁(墨田区)▽高柳東彦(墨田区)▽田中邦友(墨田区)▽榎本雄一(江東区)▽新島つねお(江東区)▽福馬恵美子(江東区)▽大竹辰治(大田区)▽本田正則(北区)▽大畑修(北区)▽斎藤泰紀(荒川区)▽並木一元(荒川区)▽かなざき文子(板橋区)▽額賀和子(足立区)▽谷田部孝一(横浜市)▽飯塚正良(川崎市)▽金子豊貴男(相模原市)▽柳沢潤次(藤沢市)▽小林直樹(三浦市)▽金丸三郎(甲府市)▽奥脇和一(富士吉田市)▽小俣武(都留市)▽小俣義之(都留市)▽萩原剛(大月市)▽茅根茂彦(日立市)▽永山堯康(日立市)▽白土仙三郎(日立市)▽内田卓男(土浦市)▽孝井恒一(結城市)▽箱守茂樹(筑西市)▽榎戸甲子夫(筑西市)▽秋山惠一(筑西市)▽石島政己(小山市)▽田中治男(高崎市)▽北島元雄(伊勢崎市)▽吉田達哉(藤岡市)▽野口吉明(さいたま市)▽菅原満(和光市)▽茂手木直忠(千葉市)▽加瀬庫藏(銚子市)▽金子正(市川市)▽浦田秀夫(船橋市)▽鈴木順子(館山市)▽中川英孝(松戸市)▽鶴澤治(成田市)▽宮本博之(習志野市)▽津久井清氏(鎌ヶ谷市)▽内田隆典(静岡市)▽二橋益良(湖西市)▽伊神邦彦(名古屋)▽横井利明(名古屋)▽藤井篤保(瀬戸市)▽川原和敏(常滑市)▽日恵野佳代(蒲郡市)▽風間勝治(知立市)▽小川政人(四日市市)▽土井数馬(四日市市)▽日置記平(四日市市)▽宿典泰(伊勢市)▽中村浩(鈴鹿市)▽村田幸隆(尾鷲市)▽西川弘(岐阜市)▽田中成佳(岐阜市)▽高橋滋(大垣市)▽新田孝(大阪市)▽岸田厚(岸和田市)▽生野秀昭(吹田市)▽田立恵子(泉大津市)▽福井浩二(高槻市)▽明石輝久(貝塚市)▽谷澤千賀子(八尾市)▽今田哲哉(門真市)▽亀井淳(門真市)▽安井勉(京都市)▽井坂博文(京都市)▽高橋秀策(舞鶴市)▽安達和彦(神戸市)▽波多正文(尼崎市)▽上原秀樹(伊丹市)▽角石茂美(相生市)▽奥村忠俊(豊岡市)▽久保義孝(川西市)▽佐伯誠章(和歌山市)▽森下佐知子(和歌山市)▽山本清司(御坊市)▽西本和明(御坊市)▽川端進(海南市)▽松本光生(新宮市)▽矢倉強(米子市)▽三島進(松江市)▽山代裕始(出雲市)▽宮本享(出雲市)▽羽場頼三郎(岡山市)▽田辺昭夫(倉敷市)▽西野修平(津山市)▽松田達雄(玉野市)▽氏家勉(玉野市)▽大西洋平(浅口市)▽金子和彦(広島市)▽木山徳和(広島市)▽佐々木壽吉(広島市)▽佐藤志行(尾道市)▽藤本友行(尾道市)▽巻幡伸一(尾道市)▽奥田和夫(呉市)▽石崎元成(呉市)▽分野達見(三原市)▽松本進(竹原市)▽関谷博(下関市)▽桑原敏幸(岩国市)▽小林雄二(周南市)▽田村勇一(周南市)▽藤田茂男(鳴門市)▽鎌田基志(高松市)▽猪野由紀久(松山市)▽松田敏彦(今治市)▽福島明(高知市)▽豊島美代子(須崎市)▽町田又一(室戸市)▽澄田和昭(直方市)▽北山隆之(田川市)▽山本慎悟(中間市)▽村山弘行(太宰府市)▽吉原孝(長崎市)▽松尾裕幸(佐世保市)▽竹山俊郎(平戸市)▽荒尾正登(五島市)▽寺崎勇児(山鹿市)▽福田慧一(宇土市)▽山本一成(別府市)▽川内八千代(中津市)▽沖園強(枕崎市)▽濱之上大成(阿久根市)▽下川床泉(指宿市)▽築地孝一(出水市)▽有村義次(南さつま市)▽池原秀明(沖繩市)

※本紙掲載以外の議員表
彰の内訳は以下の通り。

【特別表彰】

- ▼25年以上(115名)
- ▼20年以上(240名)
- 【一般表彰】
- ▼15年以上(353名)
- ▼10年以上(1399名)

感謝状 541名に

役員に感謝状を贈呈している。

定期総会では毎年、前年度の正副会長ほか役員、評議員、各委員会の

今年度の感謝状受領者は541名。

地方行政・地方財政・社会文教
産業経済・建設運輸・都市問題

正副委員長を選任

各委員会合同会議

本会は5月26日に各委員会合同会議を书面開催した。
 地方行政・地方財政・社会文教・産業経済・建設運輸の5委員会の正副委員長を各地方部会の推薦をもとに選任した。5委員会の委員長は清水富雄会長の委嘱により、国と地方の協議の場等に関する特別委員会委員に就任した。同特別委の正副委員長は後日決定の運び。都市問題に関する特別委員会の正副委員長は同会長推薦をもとに選任した。国会対策委員会は今年度最初に開かれる委員会正副委員長を選任する。
 5委員会、都市問題特別委の正副委員長は次の通り。



藤丸 地方行政委員長
(柳川市)



八重樫 地方財政委員長
(北上市)



相馬 社会文教委員長
(大月市)



池添 産業経済委員長
(寝屋川市)



奥田 建設運輸委員長
(阿南市)



和久田 都市問題特別委員長
(浜松市)

- 【地方行政】
 ▼委員長 藤丸正勝(柳川市) ▼副委員長 居村清二(能美市)、澁谷祐介(西宮市)
- 【地方財政】
 ▼委員長 八重樫七郎(北上市) ▼副委員長 岳雄(富良野市)、岩崎康朗(米子市)
- 【社会文教】
 ▼委員長 相馬保政(大屋川市) ▼副委員長 岡本雄輔(稚内市)、堀元(江南市)
- 【産業経済】
 ▼委員長 池添義春(寝屋川市) ▼副委員長 岡本雄輔(稚内市)、堀元(江南市)
- 【建設運輸】
 ▼委員長 奥田勇(阿南市) ▼副委員長 岩谷政良(秋田市)、中野康子(牧之原市)
- 【都市問題特別委】
 ▼委員長 和久田哲男(浜松市) ▼副委員長 熊本和夫(宇都宮市)、谷口典隆(彦根市)

議事人事

▽薩摩川内 川添公貴 (11.16)	▽須坂 塩崎貞夫(2.9)	▽西之表 川村孝則(2.24)	▽金沢 久保洋子(3.19)	▽北茨城 前田利勝(4.6)	▽浦添 比嘉克政(4.6)	▽札幌 細川正人(4.7)	▽入間 紺野博哉(4.9)	▽鹿角 中山一男(4.13)	▽富士見 斉藤隆浩(4.13)	▽香芝 川田裕(4.13)	▽東金 石崎公一(4.14)	▽伊賀 市川岳人(4.14)	▽小金井 鈴木成夫(4.16)	▽赤穂 山田昌弘(4.20)	▽諫早 林田直記(4.22)	▽伊達 阿部正明(4.23)	▽赤磐 実盛祥五(4.26)	▽静岡 鈴木和彦(4.27)	▽伊豆の国 内田隆久(4.27)	▽下呂 一木良一(4.27)	▽新見 石田實(4.27)	▽黒石 佐々木隆(4.28)	▽近江八幡 平井省治(4.28)	▽真庭 小田康文(4.28)	▽富山 高道秋彦(4.30)	▽三原 陶範昭(4.30)	▽小松島 廣田和三(4.30)	▽狛江 谷田部一之(5.6)	▽副議長		
▽薩摩川内 下園政喜 (11.16)	▽須坂 霜田剛(2.9)	▽西之表 長野広美(2.24)	▽金沢 山本由起子(3.19)	▽北茨城 滝 広嗣(4.6)	▽浦添 濱崎早人(4.6)	▽札幌 峯廻紀昌(4.7)	▽廿日市 中島康二(4.7)	▽那珂川 江頭大助(4.8)	▽入間 末次正(4.9)	▽返子 田幡智子(4.12)	▽鹿角 栗山尚記(4.13)	▽富士見 今成優太(4.13)	▽香芝 下村佳史(4.13)	▽東金 相京邦彦(4.14)	▽伊賀 赤堀久実(4.14)	▽小金井 遠藤百合子(4.16)	▽赤穂 前田尚志(4.20)	▽天理 市本貴志(4.22)	▽下松 近藤康夫(4.22)	▽諫早 林田保(4.22)	▽伊達(北海道) 辻浦義浩(4.23)	▽南房総 平川幸男(4.26)	▽赤磐 松田勲(4.26)	▽静岡 山根田鶴子(4.27)	▽伊豆の国 鈴木俊治(4.27)	▽下呂 田中副武(4.27)	▽新見 小河俊文(4.27)	▽近江八幡 小西 励(4.28)	▽真庭 岩本壯八(4.28)	▽富山 江西照康(4.30)	

- ▽三原 児玉敬三(4・30)
- ▽小松島 松下大生(4・30)
- ▽大垣 鈴木えつお(5・6)
- ▼事務局長 中田ゆみこ(5・6)
- ▽富山浦野弘司(2・4・1)
- ▽新見宮崎忠司(2・4・1)
- ▽宮古島 友利毅彦(2・4・1)
- ▽香芝 南浦幸次(3・31)
- ▽札幌 諏佐寿彦(4・1)
- ▽網走 林幸一(4・1)
- ▽伊達 浅水まゆみ(4・1)
- ▽寛谷 神田能成(4・1)
- ▽鹿角 佐羽内浩栄(4・1)
- ▽北秋田 米澤田茂(4・1)
- ▽新庄 武田信也(4・1)
- ▽長井 近藤智規(4・1)
- ▽相馬 高橋利宗(4・1)
- ▽田村 渡辺武(4・1)
- ▽加茂 大野博司(4・1)
- ▽燕 丸山篤(4・1)
- ▽砺波 森田功(4・1)
- ▽金沢 東利裕(4・1)
- ▽白山 佐々木満(4・1)
- ▽福井 松井優美(4・1)
- ▽小浜 和久田和典(4・1)
- ▽東御 林昌男(4・1)
- ▽文京 小野光幸(4・1)
- ▽藤沢 藤本広巳(4・1)
- ▽三浦 下田学(4・1)
- ▽南足柄 小林俊之(4・1)
- ▽甲府 佐藤学(4・1)
- ▽牛久 野口克己(4・1)
- ▽ひたちなか 岩崎龍士(4・1)
- ▽行方 久保田博(4・1)
- ▽銚田 岡部成美(4・1)
- ▽つくばみらい 中村滋成(4・1)
- ▽小山 新井博之(4・1)
- ▽那須烏山 菊地唯一(4・1)
- ▽太田 青木一男(4・1)
- ▽行田 江利川芳治(4・1)
- ▽加須 戸田実(4・1)
- ▽茂原 関屋典(4・1)
- ▽鎌ヶ谷 葛山順一(4・1)
- ▽君津 占部和裕(4・1)
- ▽山武 所田吉泰(4・1)
- ▽御殿場 芹沢節巳(4・1)
- ▽伊豆 稲村栄一(4・1)
- ▽下田 永井達彦(4・1)
- ▽豊田 近藤雅雄(4・1)
- ▽江南 石黒稔通(4・1)
- ▽高浜 竹内正夫(4・1)
- ▽鳥羽 岩井太(4・1)
- ▽瑞浪 梅村修司(4・1)
- ▽本巢 内藤睦雄(4・1)
- ▽堺 大成史朗(4・1)
- ▽岸和田 高井哲也(4・1)
- ▽交野 盛田健一(4・1)
- ▽草津 河合裕明(4・1)
- ▽長浜 米田幸子(4・1)
- ▽相生 松尾次郎(4・1)
- ▽豊岡 熊毛好弘(4・1)
- ▽西脇 山口英之(4・1)
- ▽三木 石田英之(4・1)
- ▽紀の川 柏木健司(4・1)
- ▽松江 福島恵美子(4・1)
- ▽岡山 行正彰夫(4・1)
- ▽呉 安倍広志(4・1)

令和2年度市議会議員共済会決算(概要)(令和3年3月31日現在)

給付経理(給付に要する費用) (単位:千円)	
収支の状況	
(1) 収入総額	35,964,884
(収入の内訳)	
ア 負担金	35,915,863
イ 利息及び配当金	49,021
(2) 支出総額	36,051,152
(支出の内訳)	
ア 退職年金	24,384,149
イ 退職一時金	638,525
ウ 遺族年金	11,028,400
エ 遺族一時金	0
オ 雑費	78
(3) 収支損益額 ((1)-(2))	△ 86,268
令和2年度は収入総額より支出総額が上回ったため、8,626万8千円の当期損失金となった。このため、前年度の剰余金350億9,285万6千円を取り崩して、令和2年度の給付に要する費用の不足金に補てんした。令和3年度に繰り越した給付積立金は350億0,658万8千円となった。	
業務経理(事務に要する費用) (単位:千円)	
収支の状況	
(1) 収入総額	248,372
(収入の内訳)	
ア 事務負担金	248,261
議員一人当たり13,000円×議員定数	
イ 利息及び配当金	111
(2) 支出総額	240,357
(主な支出の内訳)	
ア 役員報酬及び職員給与	58,236
イ 旅費及び事務費	38,657
ウ 委託費及び賃借料	120,498
(3) 収支損益額 ((1)-(2))	8,015
令和2年度は収入総額が支出総額を上回ったため、801万5千円の当期利益金となった。このため、前年度の剰余金3億7,793万3千円に上乗せした。これにより、令和3年度に繰り越した剰余金は3億8,594万7千円となった。	

市議会議員共済会は5月27日、書面により第122回代議員会を開催した。定款の定めにより、また、代議員会に先立ち、会長に横浜市会の清水富雄議長が就任。役員改選で副会長、理事、監事を選任した。

【新役員】
 会長 清水富雄(横浜)
 副会長 竹部隆(熱海)
 監事 川崎毅海(東大)
 監事 山崎毅海(東大)
 監事 若江進(松山)、中野義信(うきは)、押田まり子(中央区)

2年度決算を認定

共済会代議員会

- ▽三原 住田博文(4・1)
- ▽大竹 三上健(4・1)
- ▽宇部 穂積隆政(4・1)
- ▽防府 藤井一郎(4・1)
- ▽徳島 須藤浩三(4・1)
- ▽小松島 田中裕人(4・1)
- ▽高松 西川宏行(4・1)
- ▽安芸 島崎留美(4・1)
- ▽福岡 曾根田秀明(4・1)
- ▽柳川 白谷通孝(4・1)
- ▽長崎 松竹美由紀(4・1)
- ▽人吉 北島清宏(4・1)
- ▽菊池 前川幸輝(4・1)
- ▽宇土 江河一郎(4・1)
- ▽宇佐 河野洋一(4・1)
- ▽国東 福田雅樹(4・1)
- ▽鹿児島 宮之原賢(4・1)
- ▽阿久根 牟田昇(4・1)
- ▽霧島 西田正志(4・1)
- ▽西之表 園田博己(4・1)
- ▽日置 内山良弘(4・1)
- ▽南九州 樋渡孝宏(4・1)
- ▽那覇 當間順子(4・1)
- ▽浦添 座喜味治(4・1)
- ▽理事 板谷良久(苫小牧)、國井輝明(寒河江)、小泉栄正(長野)、小林憲人(ふじみ野)、橋本恒典(甲賀)、川神裕司(浜田)、若江進(松山)、中野義信(うきは)、押田まり子(中央区)

**研究会
フォーラム**
「大災害・感染症と議会」
11月 松江市開催

本会は第16回研究フォーラムを11月17、18の両日、島根県松江市のくにびきメッセで開催します。我が国は「大災害時代」を迎えていると言われており、近年、災害が頻発・激甚化し、南海トラフ巨大地震等の発災も懸念されています。また、昨年、新型コロナウイルス来、新型コロナウイルス

感染症が世界中で猛威を振るい、我が国でも緊急事態宣言が初めて発令されるなど、未曾有の事態が発生しています。大災害へは地域一丸となって備えることが重要で、地域に根差して活動する個々の議員と議員により構成される議会もまた、大きな役割を果たす

ことが期待されています。災害時には「自助・共助・公助」が被害の最小化や早期の復旧・復興につながりますが、少子高齢化や地域社会への帰属意識の低下等により、共助の相当部分を担うべき地域コミュニティが衰退傾向にあるため、議会と議員が適切に役割を分担しながら、地域コミュニティの再生のリーダーシップをとっていくことが求められています。

◆今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大などによっては、中止・延期等の場合があります。

プログラム

第1日 11月17日(水)
 11:30 開場・受付
 13:00 開会式
 13:20 **第1部 基調講演**
 「分権型社会の構想と江戸の知恵」(仮)
 田中 優子 法政大学前総長・名誉教授
 14:20 休憩
 14:40 **第2部 パネルディスカッション**
 「大災害・感染症と議会」(仮)
コーディネーター
 新川 達郎 同志社大学名誉教授
パネリスト
 名和田 是彦 法政大学法学部教授
 阪本 真由美 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科教授
 中川 和之 時事通信社解説委員
 立脇 通也 松江市議会議長
 16:40 次期開催地挨拶
 16:50 終了・移動
 17:10 **第3部 意見交換会**
 (くにびきメッセ)
 18:10 終了

第2日 11月18日(木)
 8:15 開場
 9:00 **第4部 課題討議**
 「大災害・感染症と議会」(仮)
コーディネーター
 新川 達郎 同志社大学名誉教授
 事例報告市
 3市(御殿場市、倉敷市、八代市)

【お問い合わせ】
 申込方法は、7月下旬にご案内の予定です。
 企画議事部 ☎ 03-3262-2303

実務講習会 **「地方議会議員のための政策法務 ～条例の審査と提案～」** **RILG** 一般財団法人 地方自治研究機構

- 概要**
 首長提案の条例審査手法や議員提案条例の手法について、学識経験者の講演、先駆議会の事例紹介、受講者同士のグループディスカッションを通じて必要な知識等を習得します。
- 日時**
 令和3年8月3日(火) 13:00～16:50
 全国都市会館3階 第1会議室
 (東京都千代田区平河町2-4-2)
- 内容**
 13:00～14:00
【講演】「条例の審査と提案について」
 中央大学副学長・法学部教授 磯崎 初仁 氏
 14:10～15:40
【事例紹介】神戸市議会、鎌倉市議会、富士市議会
 15:50～16:50
【参加者による意見交換】
- 受講料(教材費・税込)**
 賛助会員10,000円 非賛助会員15,000円
- お申込み専用フォーム**
https://krs.bz/rilg/m/rilg_koshu
 なお、オンラインで受講を希望される場合は、「備考」欄に、「オンライン受講希望」と記載してください。
- 申込期限**
 令和3年7月27日(火)
- オンライン受講に関する留意事項**
 YouTubeにより配信いたします。見逃し配信の期間は8/6～8/19です。
 なお、YouTubeを視聴するための端末や通信費用は受講者の負担となります。
- その他**
 詳細につきましては、実施要領を御参照ください。
http://www.rilg.or.jp/htdocs/img/003/pdf/r3_seisakuhoumu.pdf